

6月議会

June Congress

総括審査

- 新スタジアムについて
- 新県立体育館の整備について
 - PFI事業者選定について
 - 建設工事の方針について
 - 環境配慮設計について
- 成瀬ダムの基本計画変更について

議会中継は二次元バーコードから
ご覧いただけます



9月議会

September Congress

総括審査

- 動画ライブラリ構築事業について
- 移住・定住について



一般質問



1. 寛容な社会づくりの推進について
2. スポーツ環境の充実を生かした
賑わいづくりについて
3. 持続可能な公共交通の実現について
4. 森林環境譲与税の活用について



あなたの声を聴かせてください。

事務所 Tel.018-878-5961
〒010-0201 潟上市天王字上江川47-1276
E-mail s4ign@uryu-nozomu.com

瓜生のぞむの
オフィシャルHPはこちら
<https://uryu-nozomu.com/>

瓜生のぞむ

検索



NOZOMU *Second* Vol.2 Report

瓜生のぞむ | 県政レポート | 2024

発行/秋田県議会議員 瓜生 望



若手県議 4人で秋田を語る
(裏面に掲載)



愛知アリーナ視察
PFI事業者等の説明 (愛知県庁)



東湖八坂神社例大祭
味噌埋め神事



台湾・台南市議会との
議会交流



教育公安委員会県内調査
(稲川支援学校ほか)

若手が増えて どうなのよ

瓜生 どうですか?実際、若手が増えたというのは。
鈴木 まずですね、発言するところが「すげえ!」って思います。自分たちはもうビビって、ちょっとでも何か言おうものなら「分かった」みたいな感じで、何も言えないわという雰囲気。が当たり前だったんだけど、若手の数が増えるにつれて、いきなりあなたたちがワァって言うから(笑)…今までだったら孤立するんだけど、次から次にバァって言うから、何かすごいなと感心してますよ。(笑)
 自分たちの苦勞がちょっと報われたかなと。
瓜生 若手県議が多くなったから出来たことなどありますか?
鈴木 一番記憶に残っているのはあれでしょ。コロナの時の飲食店支援。あれはみんながんばったよね。1,000店舗回ったんですよ、全県の飲食店。コロナで大変でもう潰れそうだったというお店がいっぱいある割に、県としては「いや、そこまでではない」と。いやいやこれはということで「分かった、ここはエビデンスを示してやりましょう」と。



鈴木 健太 Age48
 すずき けんた
 県議会副議長
 当選3回/秋田市

全県に4,500店舗ぐらい飲食店があって、サンプルとして1,000店舗分あれば十分だというほど、思いつきで、「時間もないから、もう、やろう」と若手がまとまって一気にいけた。2、3人だと出来なかったけど、10人いたからやれたよね。
瓜生 すごかったですよね、あのスピード感。
高橋 一週間ぐらいで全部やりましたよね…
宇佐見 ほんと全県各地回ったつすよね、歩いたつす…。それと、豪さんのExcelスキルがやばかった(笑)あれは神の領域。
鈴木 手伝ってくれた先輩方もいたしね。うれしかったね。
瓜生 この地道な活動が、その後の「プレミアム飲食券」につながっていきましたもんね。
宇佐見 あと、コロナの初期とかも若手で学校の休校に対しての要望を持っていったり、急遽休校になるから、その間の預け先の確保などにしっかり配慮してくださいって要望も出しましたね。
鈴木 あれが多分議員独自の動きとしては初だったんじゃない。コロナのいろいろがあって、始まってわずかな間にすごい数の意見が来た。
宇佐見 我々もちょうど子育て世代だから、そういう声がほんとにたくさん集まりましたよね。

ちなみに
 鈴木…4人、宇佐見…3人、高橋…2人
 瓜生…3人の子育て真っ只中です。

これまで×これから



キーワードは 秋田出身者

瓜生 実際これまで少子化対策、今いろいろやってるじゃないですか。これに関してどう捉えていますか?健太さんこの前、流山市に行かれてましたけど、何かシェアできることありましたらお願いします。
鈴木 まあ条件が全然違うので…。一番有名なのは送迎保育ステーション。駅に子どもをおろせば保育園に送り届けてくれるっていう。あれが本当に定評あって。でも、秋田は電車通ってないし。ベッタウンっていう立地も全く違うんですが、僕が目目しているのは「政策立案課」何をターゲットにして、本気でその人たちを分析して、中身考えて、いい中身はちゃんと届いているのか分かるころがいいなと。
宇佐見 しっかり分析してますもんね。
鈴木 現状分析してる。
宇佐見 流山市もそうだし、明石市も分析して、賛否両論はあるけれど「ターゲットを限定」してやってる。
鈴木 即効性がというか、短期的にやらないといけないのは出身者です。秋田出身者。20歳ぐらいだともう秋田を一旦出て行ってという子はもう止められないと思うので、秋田の強みを考えたら住環境の良さ、教育環境の良さや治安



宇佐見康人 Age40
 うさみ やすひと
 産業観光委員会委員長
 当選2回/秋田市



高橋 豪 Age47
 たかはし ごと
 建設委員会副委員長
 当選2回/仙北市

だったり。こういうのってあまり若い人は分からないと思う。30代や40代ぐらいで子どもを持って、「都会の子育てしんどいな」って言うてる人が山ほどいる。帰りた、でも帰れない。けど、その中でわざわざ秋田を選んでもらうっていうのは、やっぱり出身だからっていうのが一番強いんですよ。過去20年間で8万人ぐらい出て行ってますから。ほとんど若い人で、ほとんど首都圏。ここのボリュームゾーンをまずは、この人たちが子育てが終わる前に、秋田を選んでもらえるように。
高橋 その出て行った人たちの子どもは東京生まれ、東京育ち。ってなると秋田との関わりが薄くなってなかなか取り戻すのは難しい…。
鈴木 生まれるのはどこでもいいじゃないですか。秋田戻ってきたら、秋田っ子じゃないですか。出生数はどんどん減っちゃってるんで、これをあんまり指標にすると暗くなっちゃうんで。俺は人口をちゃんとどこかで維持できればいいと思う。あっちで産んだ人は帰っておいでって思う。親元で育てれば一番いい。うちがそうなんですけどね(笑)
宇佐見 結婚のタイミングで考えてもらえればいいよね。秋田も選択肢にいれてもらえばだいぶ変わるのかな、と。そういう点でいうと、秋田出身の女性にフォーカスをする。
鈴木 やっぱり母親の親がいいよね。
全員 そうですね!それは間違いない。
瓜生 実はそれ、旦那さんたちにもそれが一番助かるんだよと僕は伝えたい。実は、結構良くしてもらってるんですよ(笑)

バリッと やりたい

鈴木 俺、港をさ、バリッとやりたいんだよね。超ベイエリアにしたい。
全員 ああー!いいです
瓜生 ベイエリアというか海沿い。土崎から出戸浜。あそこが今ちょっと面白いことになってきてるんですよ。
鈴木 そうなの??
瓜生 サウナできたり、本屋さんできたり。今、カレー屋さんもできるんですって。砂浜は、この前の建設委員会で頑張ってもらったんですけど、砂浜がもう侵食されてて、そこに砂入れてもらって。それだけだとダメだということで、テラポッドを設置してもらうように国に要望してもらってるんですけど。そういうので海水浴場も維持しながらも、出戸浜から土崎までのあのラインって男鹿半島も見えるし、夕日やばいっすから!で風車でしょ。前から言ってるトウクックで。
高橋 名古屋にありましたよね!
瓜生 そうです。名古屋の街中走ってました。
鈴木 この前、俺、富山で運河の観光の視察行ってきたんだよね。日本でそこしか観光できないっていう。パナマ運河方式で2.7mくらいあるので、こう行って閉めて水を戻していくっていう。あれ結構駅から近くて。「あ、面白いなこれ。」産業観光という点で。で、これさ、絶対高さ200mの風車でやったら面白い。視察で既に来てる訳だし。そのクルーズ?の運河が1,800円なんだけど、多分2,000円ぐらいで見てもらっても、みんな「マジで?」って言うくらいデカイ訳でしょ!それを見て回るツアーは俺は面白いと思う。視察に来ると絶対乗るじゃん。そうやって港を観光地にしたい。
瓜生 ほんとにコンテンツあるのにもったいないですよ。
宇佐見 そこをどう活かそうかっていう視点が足りないです。
瓜生 でもそれを先頭になって進めるのは行政じゃないんだよね。
瓜生 そうですね!実際は民間が頑張ってる、そこに行政がバックアップをしていく。
鈴木 これまでは新しいことはちょっと…ってなっちゃうよね。
瓜生 そこがちょっと変わっていいなって思います。
鈴木 すぐ「成果出てないじゃないか!」って文句つける人がいるよね。それはトライ&エラーを許容していくような文化が必要!

年齢・役職は撮影当時のものです。(R6.6.14撮影)



瓜生 望 Age45
 うりゅう のぞむ
 教育公安委員会副委員長
 当選2回/潟上市